

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築と構造						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	津田 和明						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築構造の概要を学び、一般的な骨組み架構と設計法の概要を理解する。 ・木構造の概要を例を通して学び、木構造への理解を深める。 ・鉄筋コンクリート構造の概要を例を通して学び、鉄筋コンクリート構造への理解を深める。 ・鋼構造の概要を例を通して学び、鋼構造への理解を深める。 ・基礎構造の概要を例を通して学び、基礎構造への理解を深める。 						
日程と内容	4月12日：導入講義 4月19日：建築構造へのアプローチ 4月23日：木構造－1 4月26日：木構造－2 5月10日：木構造－3 5月17日：鉄筋コンクリート構造－1 5月24日：鉄筋コンクリート構造－2 5月31日：鉄筋コンクリート構造－3 6月7日：鋼構造－1 6月14日：鋼構造－2 6月21日：鋼構造－3 6月28日：基礎構造 7月5日：木構造演習 7月12日：鉄筋コンクリート構造演習 7月19日：鋼構造演習 7月26日：定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	30%		100%			
授業到達目標の達成度	目標全体に対し、合格率84%、優以上44%であり、数字だけ見れば、十分に目標を達成できているように思われるが、本当に理解した学生は僅かと思われる。						
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクの調子が悪かったため、教室があまり広くない事から、マイクを使用せずに授業をおこなった。そのため、聞き取れなかった学生が多数いたようである。また、早口となった部分もあったようである。→マイクを使用し、ゆっくりとしゃべりたい。 ・内容が難しいとの声があった。→もう少し、かみ砕いて説明したい。 ・配布資料の文字が小さいとの指摘があった。→資料サイズをB4からA3に変更するとともに、余白を小さくするなどの工夫をしたい。 						
来年度の計画	基本的に今年度と同様に進めていくが、授業全体のスピードをゆるめたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は6.4点であった。評価点の低い学生の殆どは、「聞き取れなかった。」、「資料の文字が小さい。」であり、これらには対応していきたい。						
履修登録者数	91名	定期試験 受験者数	90名	合格者数	76名	合格率	84%